



日本財団 災害復興支援 報告書 2020

コロナ禍における初めての複合災害

CONTENTS

2020年度の災害概要	1～2
日本財団が行った2020年度被災地支援	3
コロナ禍における初めての複合災害対応	4
重機ボランティア隊の活動	5～6
教育環境の整備	7
NPOの活動事例	8～9
支援現場の声	10
2020年度災害復興支援事業一覧	11～14
(1) NPO・ボランティア活動への支援	
(2) 教育環境の整備への支援	
(3) 被災者の方々への支援	
(4) 福祉団体等への支援	
災害復興支援特別基金	15～16



2020年度の災害概要

2020年度は新型コロナ禍に全世界が見舞われた年となりました。

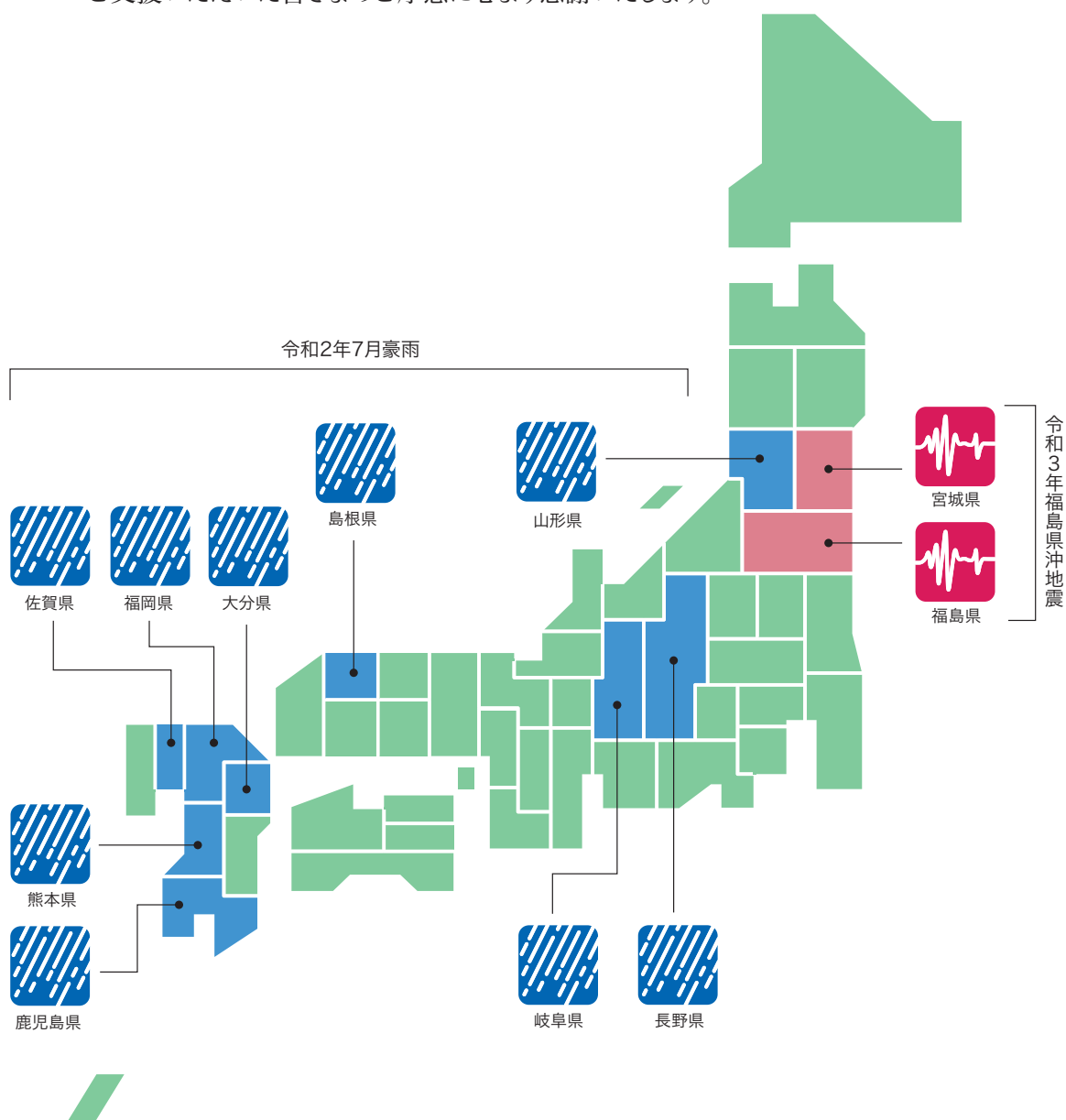
新型コロナ禍における初の自然災害によって、日本各地で多くの方が被災されました。

被害に遭われた皆さまやそのご家族に心よりお見舞い申し上げます。

日本財団は、民間の立場で迅速な支援を実施するため、

自治体やNPO等と連携しながら現場のニーズにあった支援を行ってまいりました。

ご支援いただいた皆さまのご厚意に心より感謝いたします。



令和2年7月豪雨

2020年7月3日以降7月31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地の広範囲で記録的な大雨に見舞われました。災害救助法の適用は、9県（山形県、長野県、岐阜県、島根県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県）に及び、大規模な土砂災害や河川の決壊等による浸水被害により、死者・行方不明者の合計は全国で84名、住家の全壊・半壊・一部破損、床上浸水の合計は7,781棟（2021年2月26日 消防庁）という甚大な被害をもたらしました。また、新型コロナ禍での初の大規模な自然災害となったことから、住民の避難をはじめ、復旧に必要なボランティア活動、地域のコミュニティの維持に至るまで、復旧・復興に向けた活動自体にも困難が伴う災害となりました。



熊本県球磨郡球磨村 写真提供:(一社) OPEN JAPAN

令和3年福島県沖地震

2021年2月13日23時08分頃、福島県沖を震源として、マグニチュード7.3の地震が発生しました。宮城県と福島県で最大震度6強を観測し、東日本全域で長周期地震動が長く続いた結果、全壊69棟、半壊729棟、一部破損19,758棟（2021年3月29日 消防庁）などの被害をもたらしました。



福島県新地町福田地区写真提供:(特)災害救援レスキューアシスト

日本財団が行った 2020年度被災地支援

NPO・ボランティア活動への支援

- NPOボランティア団体への活動支援
- 専門技術やノウハウの有する団体



78事業
11,540万円

教育環境の整備への支援

被災した保育・幼稚園、小学校、高校・専門学校、特殊支援学校、短大・大学等に対する教材等（図書や体育用具、楽器等）の整備



19事業
1,900万円

被災者の方々への支援

- お亡くなりになった方（災害関連死含む）に対する弔慰金



弔慰金 **70**件 **700**万円

福祉団体等への支援

- 日本財団の支援実績のある入所施設等（宿泊を伴うサービス）への事業継続支援
- 日本財団の支援実績のある被災車両代替整備・被災機器代替整備・被災建築物の復旧整備
- 入所施設等（宿泊を伴うサービス）への復旧支援（床上浸水を対象）
- 「みんなの家」等の整備支援



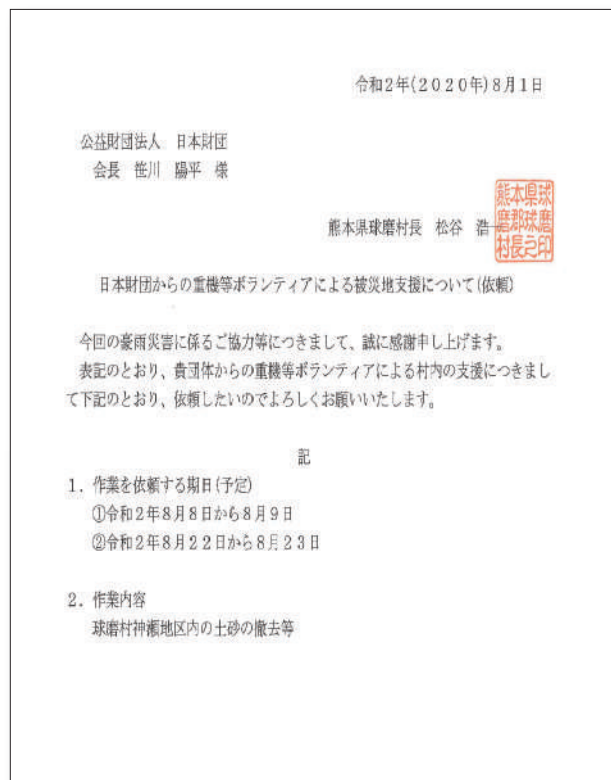
14事業
3億2,643万円

コロナ禍における初めての 複合災害対応

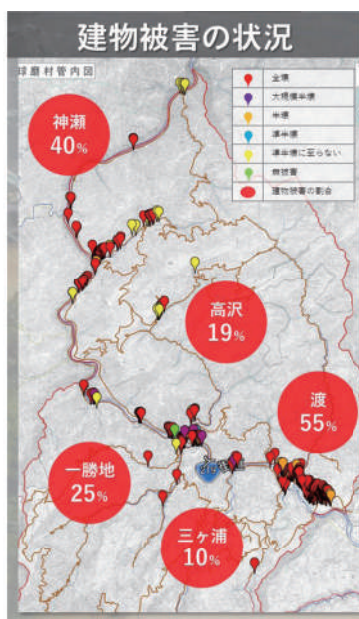
令和2年7月豪雨は、2020年(令和2年)7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に西日本から東日本、東北地方の広い範囲で被害をもたらしました。特に7月4日から7日にかけて九州全域で記録的な大雨となり、球磨川など大川の氾濫が相次いだことにより、球磨村や人吉市など球磨川流域自治体で浸水被害や土砂災害が拡大しました。

コロナ禍における初の大規模災害であったことから、各自治体や団体の多くは手探りの対応となり、隣接する地域でも行政の対応方針が異なるなどの混乱が生じました。また、人流による感染拡大の懸念から、全国規模でボランティアを募ることもできないなど、復旧が遅々として進まない事態が発生しました。そこで、日本財団では、被災県に所在のボランティア団体を中心に積極的に支援するなどの対応策を取ったほか、球磨村からの要請を受けて、重機等ボランティア隊を派遣するなど、これまでの災害対応とは異なる支援活動を展開しました。

最終的に、お預かりした多くの寄付金から支援活動を行うNPOやボランティア団体など全71事業に9,548万円、被災した幼稚園・保育園や小学校・高等学校、専門学校などの教育機関に対する教育環境の整備として全19団体1,900万円の支援決定を行ったほか、交付金から弔慰金として70件700万円や福祉団体(入所施設等)への支援として4施設400万円、熊本みんなの家等の助成事業として3億720万円を決定しました。



球磨村からのボランティア要請



出典:球磨村「令和2年7月豪雨災害検証報告」より

重機ボランティア隊の活動

重機ボランティア隊は、連携のボランティア団体や海上保安学校門司分校、日本財団職員などによる混成チームで、PCR検査の受診を含めた徹底的な感染対策をしたうえでの直接派遣を計6回実施しました。現地駐在職員と連携するNPO等と共に、住民や村のニーズに基づいて、被害の大きかった神瀬地区、渡地区を中心に道路啓開、家屋の土砂出し及び貴重品救出、歩道の漂着物撤去等の景観再生、基幹産業である森林組合製材所の土砂出し等を行いました。

行政は道路復旧等に重機を優先的に投入せざるを得ず、宅地の土砂撤去はほぼ手つかずの状況が続きました。日本財団では、被災された住民の方々の少しでも早い復旧のため、琢磨村役場等と調整を行いつつ、小型重機を用いて住宅内の土砂撤去を行いました。過去に数々の被災地で経験を積んだ熟練の有志重機オペレーターの活躍により、かつての村の輪郭が次々

とよみがえりました。

また、大きな重機だけでなく、どうしても沢山の人の手、スコップでしかできないことが多い水害からの復旧など、コロナ禍で県外ボランティアが少ない中での作業となりました。



被災地支援における重機の重要性

重機ボランティア隊の活動データ

主な作業内容

- 生活圏内の土砂や危険流木の撤去、森林組合製材所土砂、被災機材設備搬出、渡小学校グラウンド整備、被災家屋の堀出し・土砂出し、公共施設・小規模事業所の土砂出し、被災車両、農機具の移動、土砂仮置き場整備、災害廃棄物の搬出、国道・村道の啓開、水路・生活路の復旧
- 孤立集落への仮設橋修復、土砂仮置き場整備、通行危険箇所のカーブミラー修復
- ごみステーションの再生、村営バスのバス停の修復、住民向け家屋再生説明会 等



使用した重機

- 油圧ショベル、クローラダンプ、ロードローラー等、20台以上
- 2～3トンダンプ×9台以上、軽トラ×10台以上

連携した技術系の団体

- OPEN JAPAN
- DEF TOKYO
- DRT JAPAN 三重
- DRT JAPAN 神戸
- DRT JAPAN 佐賀
- DRT JAPAN 長崎
- DRT JAPAN 広島
- DRT JAPAN 奈良
- BORDERLESS FIRE 熊本
- BORDERLESS FIRE 大阪
- 人吉下球磨消防本部
- IVUSA
- 共同ネットワーク
- ランドアース
- ヒューマンシールド神戸 等



教育環境の整備

いつ降りかかるかわからない災害は、子供たちの学びを支える教育現場にも及びます。教育現場では、卒業生や保護者会からの記念品など、多くの寄贈品によって学びの場が支えられていますが、公的資金による復旧対象とはならないケースも存在します。そのため、日本財団では、被災地の子どもたちの笑顔と学びの現場を守るために、被災した教育現場に必要な品々を整備するための「教育環境の整備」事業を展開しています。

「令和2年7月豪雨 教育環境の整備(床上浸水を対象)」では、被災した保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校等に対して、全19団体1,900万円の支援決定を行いました。その結果、各教育現場のニーズにあわせて、ベンチや配膳台、セーフティマット、プロジェクター、パドリングマシンなど、多岐に渡る内容の整備に活用されました。



人吉中央幼稚園配膳台の整備



人吉中央幼稚園ベンチの整備

令和2年11月17日

日本財団の皆様

大牟田市天領保育所長
所長 吉富 豊美

御礼

先日より、災害後の申請事務等を親身に対応していただきありがとうございました。今回の水害における財団からのご支援、心から感謝いたしております。

発注しておりました物品がさっそう納入されましたので、御礼とご報告を兼ねてメールを送付させていただきます。



購入させて頂きましたマットです。
新しいマットに転がり子ども達が大喜びでした。
ありがとうございました。

福岡県大牟田市の天領保育所からの写真付きの御礼状

NPOの活動事例

(特)スポーツクラブ・エスペランサ熊本

スポーツクラブ・エスペランサ熊本は、熊本県八代地域を中心に、保育園・幼稚園から中学生までが所属するサッカークラブチームです。

令和2年7月豪雨では、いつも試合や大会で使用している球磨川河川敷のグラウンドが原型を留めておらず、ゴールやトイレまで流されていた状況にも負けずに、チーム一丸となって進んでいこうとの思いでした。

今回の豪雨では、エスペランサ熊本のクラブ生・卒業生の自宅も被害に遭うなか、エスペランサ熊本の小学生、中学生、そして、スタッフが協力して、土砂の撤去や被災した家屋の掃除など、ボランティア活動を実施してきました。写真や動画で被害の状況は見ることができましたが、実際に現場にいくと想像以上でした。ボランティア活動が初めての子どもも最初はなかなかうまく道具を使いこなせず苦労している様子でしたが、徐々に慣れてテキパキと作業を行ってくれました。慣れない作業で大変だったかと思いますが、クラブ生はとても頑張ってくれました。

今回の活動を通じて、地元の方に直接感謝される活動を行うことができたことが大きな成果となりました。



活動を行う中で、夏場の暑い日が続く肉体的に大変な作業が多かったですが、住民の方の支えと感謝の言葉が大きな活力となりました。当団体

のクラブ生も積極的にボランティア活動に参加し、災害について考えるいい機会になったと思います。まだまだ、復興に向けて課題ややらなければならないことはたくさんありますが、当団体にできる支援は今後も続けていこうと思います。



DRT JAPAN NAGASAKI

DRT JAPAN NAGASAKIは地元支援団体や、DRT JAPAN・OPEN JAPAN・災害NGO結などの技術系支援団体、社会福祉協議会と連携し、人吉市・球磨村・八代市坂本町にて活動を行いました。

初期の活動では、土砂・瓦礫の撤去、被災車両の搬出、家屋内の土砂撤去、支援物資運搬などを実施。中期からは、再建家屋の壁床撤去・ブラッシング、集会所の仮復旧、農地の土砂瓦礫撤去、炊き出しなどを実施しました。

コロナの影響で人海戦術での撤去作業が困難となる中、重機や特殊車両を用いることで少ない人数で効率よく復旧活動を行いました。また、道路上の土砂瓦礫の撤去し、被災地区の生活再建

に貢献するなど、被災家屋だけでなく、コミュニティの中心となる集会所の仮復旧を行い、バラバラになってしまった地域のコミュニティ再建のきっかけづくりに尽力しました。



支援現場の声

コ ロナ感染症のために、熊本豪雨災害のことを忘れられてしまっている気がして、寂しいなってしまう時もありました。知ってもらって「大変だったね」「なにか自分たちにしてあげられる支援がないか」と思う人がいてくれるだけで、何とか自分たちも頑張ろうと思うんです。

災害後すぐに駆けつけてくれたのが日本財団さんや、OPENJAPANさんでした。そこに電気がついているだけで安心なんです。あの人たちがいてくれる、あの人たちが頑張ってくれる。だったら自分たちも頑張ろうって立ち上がれるんですよ。きっとだから忘れられたくないの延長線上は、それなのかな、と思います。自分たちが頑張るために、「あの時大変でしたよね」「応援しています」と言われることで、忘れられていない、自分もまだ頑張れるって思えるからです。そういった意味で忘れられたくない。そして二度と災害で命を落とす人がいないようにしてほしいと思っています。



神瀬保育園(熊本県球磨村)岩崎ちふみさん



熊本消防元大隊長 渡邊英典さん

被 災直後から人吉市や球磨村に入り、車中泊を続けながら毎日活動していました。

「ゴジラなんか通ったんじゃないか」と災害派遣で行った東北の津波災害のように土砂崩れが酷く、九州北部豪雨以上の被害状況だと感じました。

住民の方々とだけ片付け作業をしていた際、作業の途中で住民さんが突然しゃがみ込まれたんです。その辺りの石に、泥だらけの姿で座り込んで、うなだれて、「そんな姿を見たらたまらん」と声もかけられませんでした。今まで一度も見たことがなかった光景でした。

被災した直後からずっとずっと続く片付け。命からがらやっとの思いで助かった人が自分達の片付けで倒れて死んでしまったら、せっかく助かった命が本当にたまりません。

2020年度 災害復興支援事業一覧

※2021年3月31日時点

災害名	助成金額※ ¹	支援金額※ ²
(1) 令和2年7月豪雨※ ³	329,430,000円	118,481,000円
(2) 令和3年福島県沖地震	0円	19,920,000円

※1 助成金は、ポートレースの売上の一部である交付金から拠出しています。

※2 支援金は、日本財団にお寄せいただいた寄付金並びにLOVE POCKET FUND ※⁴にお寄せいただいた寄付金に加えて、2014年度より積み立てている「災害復興支援特別基金」へ寄せられた寄付金から拠出しています。

※3 本合計金額には日本財団による重機等による直接支援にかかる各種費用については含まれておりません。

※4 「LOVE POCKET FUND」(愛のポケット基金)とは、稲垣吾郎、草なぎ剛、香取慎吾による「新しい地図」と日本財団により2020年4月に設立された基金です。

(1) NPO・ボランティア活動への支援

令和2年7月豪雨	71事業
	95,481,000円

NO	団体名	団体所在地	支援金額
1	ボランティア団体ASAGIRI	熊本県球磨郡あさぎり町	330,000円
2	チームすぎさん(DRT JAPAN)	愛知県新城市	1,200,000円
3	(特)故郷復興熊本研究所	熊本県阿蘇郡西原村	931,000円
4	DRTJAPAN NAGASAKI	長崎県諫早市	2,400,000円
5	DRT-JAPAN三重	三重県志摩市	2,340,000円
6	熊本県南部豪雨ひまわり亭災害支援ネットワーク	熊本県人吉市	1,000,000円
7	レスキューアシスト熊本	熊本県熊本市	1,000,000円
8	石狩思いやりの心届け隊	北海道石狩市	1,800,000円
9	(一社)さくら福祉会	熊本県水俣市	1,000,000円
10	災害エキスパートファーム	東京都あきる野市	3,000,000円
11	縁の下のもぐら	兵庫県芦市	1,400,000円
12	風組関東	東京都中野区	3,000,000円
13	(一社)日本カーシェアリング協会	宮城県石巻市	3,000,000円
14	被災地NGO協働センター	兵庫県神戸市	3,000,000円
15	災害ボランティア 九州・仁	熊本県熊本市東区	1,000,000円
16	災害ボランティア チームランドアース	熊本県球磨郡球磨村	1,000,000円
17	NPO法人OneField	熊本県菊池郡菊陽町	960,000円
18	被災写真洗浄あらいぐま熊本	熊本県熊本市中央区	570,000円
19	(一社)熊本支援チーム	熊本県熊本市東区	1,000,000円
20	NPO法人スポーツクラブ・エスペランサ熊本	熊本県八代郡氷川町	1,000,000円
21	球磨村復興協力隊	熊本県球磨郡球磨村	1,000,000円
22	災害支援団体 かわず	熊本県阿蘇郡西原村	1,000,000円

⇒ 次ページに続く

NO	団体名	団体所在地	支援金額
23	(一社) Camp	福岡県朝倉市	400,000円
24	NPO 法人九州災害復興支援リーダーズサミット	熊本県熊本市	600,000円
25	東無田復興委員会	熊本県上益城郡益城町	1,000,000円
26	球磨村雲泉寺災害ボランティアグループ	熊本県球磨郡球磨村	1,000,000円
27	FOR EARTH	熊本県上益城郡御船町	1,000,000円
28	芸術の都 ACTくま100	熊本県熊本市	1,000,000円
29	Borderless Fire Kumamoto	熊本県熊本市	1,000,000円
30	アーキレスキュー人吉球磨	熊本県人吉市	1,000,000円
31	復興支援ネクストステップ阿蘇	熊本県阿蘇郡南阿蘇村	1,000,000円
32	災害NGO結	沖縄県糸満市	3,000,000円
33	コミサボひろしま	広島県呉市	3,000,000円
34	NPO 法人リエラ	大分県日田市	3,000,000円
35	くまもと友救の会	熊本県上益城郡益城町	3,000,000円
36	(特) 災害救援レスキューアシスト	大阪府茨木市	1,000,000円
37	JAPANHOPE	熊本県熊本市	1,000,000円
38	(一社)おもやい	佐賀県武雄市	1,000,000円
39	(特) MAKE HAPPY	熊本県人吉市	1,000,000円
40	みらい見守り隊	東京都葛飾区	1,000,000円
41	TEAM イトケン	熊本県宇城市	1,000,000円
42	かわせみやませみ	熊本県熊本市中央区	950,000円
43	(一社) BRIDGE KUMAMOTO	熊本県熊本市 中央区	1,000,000円
44	(一社) 青井の杜外苑街づくり協会	熊本県人吉市	1,000,000円
45	NPO 法人九州キリスト災害支援センター	熊本県上益城郡益城町	1,000,000円
46	NPO 法人熊本まちなみトラスト	熊本県熊本市	1,000,000円
47	大隅災害復旧ボランティア	鹿児島県鹿屋市	850,000円
48	人吉コミュニティ にじのおと	熊本県人吉市	520,000円
49	支援の「わ」(熊本ベース)	滋賀県長浜市	1,000,000円
50	(一社)九州環境地域づくり	熊本県熊本市	930,000円
51	坂町ようよう倶楽部	広島県安芸郡坂町	1,000,000円
52	社会福祉法人合志市社会福祉協議会	熊本県合志市	1,000,000円
53	RQ九州	熊本県下益城郡美里町	1,000,000円
54	個庫茶屋	熊本県人吉市	1,000,000円
55	公益財団法人熊本YMCA	熊本県熊本市	1,000,000円
56	災害サポーターズ九州 DSK	福岡県豊前市	1,000,000円
57	災害NPO旅商人	埼玉県さいたま市	910,000円
58	天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト	大分県日田市	1,000,000円
59	ボランティアグループ あめつち	熊本県水俣市	580,000円
60	Reborn坂本	熊本県八代市	1,000,000円
61	(一社)がんばるけん熊本機構	熊本県人吉市	860,000円
62	ブラッシュボランティア	熊本県球磨郡多良木町	1,000,000円
63	坂本町災害支援チーム ドラゴントレイル	熊本県八代市	1,000,000円
64	復興支援団体チームHub-uchi	熊本県八代市	1,000,000円
65	NPO 法人球磨川アドベンチャーズやつしる	熊本県八代市	1,000,000円
66	斗組 (坂本支援チーム)	熊本県八代市	1,000,000円
67	(特)くまもとLRネット	熊本県熊本市	1,000,000円
68	ヒューマンシールド神戸	長野県上水内郡信濃町	3,000,000円

⇒ 次ページに続く

NO	団体名	団体所在地	支援金額
69	熊の恩返し	熊本県合志市	1,000,000円
70	(一社)RCF	東京都新宿区	3,000,000円
71	(一社)OPEN JAPAN	宮城県石巻市	4,950,000円

令和3年福島県沖地震等	7事業
	19,920,000円

NO	団体名	団体所在地	支援金額
1	(一社)プロボノ消防志	東京都世田谷区	3,000,000円
2	(特)災害救援レスキューアシスト	大阪府茨木市	4,470,000円
3	災害ボランティア愛・知・人	愛知県春日井市	1,000,000円
4	(一社)ピースポート災害支援センター	東京都新宿区	2,000,000円
5	(一社)OPEN JAPAN	宮城県石巻市	4,950,000円
6	震災がつなぐ全国ネットワーク	愛知県名古屋市	3,500,000円
7	(福)山元町社会福祉協議会	宮城県亶理郡山元町	1,000,000円

(2)教育環境の整備への支援

令和2年7月豪雨	19事業
	19,000,000円

NO	団体名	団体所在地	支援金額
1	下呂市立下呂中学校	岐阜県下呂市	1,000,000円
2	(福)しらぬい福祉会 不知火保育園	福岡県大牟田市	1,000,000円
3	(福)わかあゆ福祉会 わかあゆ保育園	熊本県八代市	1,000,000円
4	大牟田市立みなと小学校	福岡県大牟田市	1,000,000円
5	(学)本願寺学園 認定こども園 人吉中央幼稚園	熊本県人吉市	1,000,000円
6	(福)川岳福祉会 川岳保育園	熊本県八代市	1,000,000円
7	大牟田市天領保育所	福岡県大牟田市	1,000,000円
8	芦北町立佐敷小学校	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円
9	芦北町立佐敷中学校	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円
10	(福)水俣福祉会津南保育園	熊本県葦北郡津奈木町	1,000,000円
11	熊本県立八代清流高等学校	熊本県八代市	1,000,000円
12	熊本県立球磨工業高等学校	熊本県人吉市	1,000,000円
13	(学)青井学園認定こども園青井幼稚園	熊本県人吉市上	1,000,000円
14	熊本県立人吉高等学校	熊本県人吉市	1,000,000円
15	(学)赤山学園 九州技術教育専門学校	熊本県人吉市	1,000,000円
16	(福)将友会 あしきた・まちのこども園	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円
17	九重町立野矢小学校	大分県玖珠郡九重町	1,000,000円
18	(福)富士谷福祉会 林 保育園	熊本県人吉市	1,000,000円
19	熊本県立芦北高等学校	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円

(3) 被災者の方々への支援

令和2年7月豪雨	弔慰金 70件
	7,000,000円

(4) 福祉団体等への支援

令和2年7月豪雨	14事業
	326,430,000円

NO	団体名	団体所在地	支援金額
1	(特)一歩会eすぺーす	鹿児島県鹿屋市	1,470,000円
2	(福)ことの海会	長崎県大村市大里町	930,000円
3	(福)慈友会	熊本県葦北郡芦北町	3,190,000円
4	(福)川岳福祉会	熊本県八代市	1,960,000円
5	(福)本郷福祉会	福岡県みやま市	1,960,000円
6	(特)ばらん家	熊本県葦北郡芦北町	1,960,000円
7	(特)サポートセンターささえ愛	福岡県柳川市	1,960,000円
8	(福)日本厚生学園	福岡県大牟田市	1,800,000円
9	(福)芦北福祉会 コミュニティハウスオアシス	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円
10	(福)芦北福祉会 グループホームさくら	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円
11	(福)慈愛会 特別養護老人ホーム千寿園	熊本県球磨郡球磨村	1,000,000円
12	(特)ばらん家 グループホーム芦北	熊本県葦北郡芦北町	1,000,000円
13	(一財)熊本県建築住宅センター	熊本県熊本市	300,000,000円
14	(一財)熊本県建築住宅センター	熊本県熊本市	7,200,000円



日本財団 災害復興支援特別基金

近年、線状降水帯による大雨や台風の大型化により、
大規模災害が頻発し、深刻な問題となってきました。
一方で、首都直下型地震や南海トラフ大地震の発生も懸念され、
それらへの備えは喫緊の課題となっています。
特別基金は緊急支援に対応するために2014年3月に設置した基金です。



日本財団は2014年3月、東日本大震災などにおける災害復興支援活動の経験から、
大規模な災害が発生した際に民の立場で迅速な緊急支援を実施することを目的として、
目標額300億円の「災害復興支援特別基金」を立ち上げました。

東日本大震災の最大の教訓は、災害対策は起きてからでは遅いということです。
大災害が起きたとき、真っ先に動くための支援金を蓄えておく仕組みが必要です。

「支援金」と「義援金」の違い

支援金



救命・復旧活動 ▶ 使われる

配分 ▶ 支援団体が使い方を決定

被災地に届くまで ▶ すぐに届く

義援金



救命・復旧活動 ▶ 使われない

配分 ▶ 被災者に公平に分配

被災地に届くまで ▶ 時間がかかる

「支援金」とは、被災者の方に直接送られる「義援金」とは違い、被災地でさまざまな支援活動を行う団体が被災者を助けるために活用されるものです。大規模な自然災害が発生した場合、被災地ではインフラの復旧などの行政による活動と同時に、民間の視点による被災者に寄り添ったきめの細かい支援活動も欠かせません。日本財団は、阪神淡路大震災以降50回以上、災害支援に出動して、民間の視点から、支援金を活用してNPOやボランティア団体とともに被災地での支援活動を行ってきました。

「災害復興支援特別基金」で想定している主な事業

1. ボランティア団体、NPOが行う支援活動への助成

現地のニーズに対応するボランティア団体、NPO等への活動資金を迅速に助成する。

2. 企業・学生ボランティアの派遣

日本財団のネットワークを活用し、企業や学生のボランティアを被災地へ送る。

3. 要援護者などへの支援

必要な支援が行き届いているか、被災地域の避難状況を自治体等と連携して実施する。そのうえで、災害により困難な状況を強いられやすい乳幼児・高齢者・妊婦・障害者・外国人などの特別なケアが必要な要援護者を支援する。併せて、孤立しがちな在宅避難者への支援、対応も行う。

4. ボランティアリーダーの養成とネットワークの形成

災害ボランティアを組織的に運営できるリーダーの養成と、災害時の組織・人材のネットワークを形成する。



編集後記

2020年度は熊本県を中心とした日本全国の広い範囲での豪雨災害に加え、福島県沖地震が発生しました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また、2020年度はコロナ禍で初の大規模災害に見舞われた年でもあり、個人、各自治体、団体が様々な場面で難しい選択を迫られました。本報告書はこの一年の当財団の活動を振り返り、今後いつ、いかなる状況で発生するかわからない災害に対し、どう備えるか考えるための一助となるよう、作成したものです。

当財団は今後も頻発する災害に対して、地域社会、NPO、医療機関、企業などと連携し、民間によるネットワークの力で自助、共助を推進しながら現場のニーズに合った支援を届けていきます。

(2021年6月現在)

災害対策事業部		部長	外海 陽子
同	災害対策事業チーム	アドバイザー	黒澤 司
同	同	チームリーダー	樋口 裕司・高島 友和
同	同	シニアオフィサー	橋爪 亜希
同	同		真野 優、藤重 香弥子、袖山 啓子、中村 克也、和田 悠太郎、矢野 智子、武居 和加



For Social Innovation

日本財団

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

Tel:03-6229-5111 Fax:03-6229-5110

E-mail cc@ps.nippon-foundation.or.jp